

川崎市の新たなミュージアムを考える 「ミュージアム・市民ミーティング」

川崎市市民ミュージアムが令和元年東日本台風により被災し、施設の復旧が困難となったことを受け、本市では、新たなミュージアムの整備に向けた取組を推進しています。

「新たなミュージアムの検討のこれまでとこれから」

2019（令和元）年 10 月	令和元年東日本台風による市民ミュージアム被災
2021（令和3）年 11 月	基本的な考え方策定
2023（令和5）年 5 月	基本構想策定
2023（令和5）年 9 月～	オープンハウス型説明会
2023（令和5）年 10 月	第1～3回ワークショップ
2023（令和5）年 11 月	WEBアンケート実施
2024（令和6）年 2 月	基本計画の中間報告、IN ACTION 開始
2024（令和6）年 3 月	第4回ワークショップ
2025（令和7）年以降	基本計画策定、管理運営計画策定などを経て… → 新たなミュージアム開館！

「川崎らしい」ミュージアムの実現に向け、行政だけでなく、市民の皆様とともに新たなミュージアムを考える取組として、「みんなでつくるミュージアム」をテーマに、ワークショップ「ミュージアム・市民ミーティング」を開催しました。

「ミュージアム・市民ミーティング」の目的

第1回（2023（令和5）年 10 月 7 日開催）

ゆかりのある地域ごとに分かれ、「あったらいいな！」と思う未来のミュージアムについて自由に考えます。

第2回・第3回（2023（令和5）年 10 月 21 日・28 日開催）

携わっている活動や興味のある分野ごとに分かれ、これまでの課題を出し合い、それらを新たなミュージアムで解決する方法を考えます。

第4回（2024（令和6）年 3 月 9 日開催）

これまでの検討を踏まえ、開館前から開館後にかけての新たなミュージアムの活動内容をより具体的に考えます。

→皆さまのご意見を踏まえ、基本計画の策定に向け、新たなミュージアムのコンセプトや活動内容、どんなことに力を入れていくのかということなどを考えていきます。

第1回 「あったらいいな！」と思う未来のミュージアムを語り合おう！

(2023 (令和5) 年 10 月 7 日 (土) 開催)

STEP1 ディスカッション①

ゆかりのある地域ごとに、新たなミュージアムに「あったらいいな！」と思うことや、必要なミュージアム像について議論しました。

STEP2 アドバイス

席を移動して、他のグループの検討内容に対してアドバイスをしました。

STEP3 ディスカッション②

元のグループに戻り、もらったアドバイスをもとに、再度「新たなミュージアム像」を考えました。

STEP4 発表

①北部チーム

「市民の市民による市民のためのALL KAWASAKIミュージアム」、「川崎市民ミュージアムさん道」など、駅周辺からミュージアムまでの動線の整備など、交通アクセスに関する意見が見られました。

(発表者コメント)

- ・ (新たなミュージアムに) 川崎市の特色を出したいということで、市民が運営に参画したり、地元の資源である、企業や農家のいろんな川崎のものをレストランやカフェに活用していきたい
- ・ (新たなミュージアムまでの) 道すがらが楽しければ、アクセスを気にせず来てくれるし、その道すがらにいる人たちも、まちに開かれたミュージアムであれば、活発な顔の人が見られたり、いろんな人たちが楽しみながら来られるミュージアムになるのではないかな

②中部チーム

「川崎市民もそれ以外の人も川崎を知って好きになる、人に優しい川崎市民ミュージアム」「誰でも集える美術館」など、川崎市内外から多様な人が集い、つながるという、ミュージアムにつなぐためのハブ機能を備えてほしいとの意見が出ました。

(発表者コメント)

- ・ 『体験型』の、展示物を観るだけでなく、体験して、小学生から大人まで楽しめるような『体験型のミュージアム』にしたい
- ・ 子ども、学生、主婦、ビジネスマン、お年寄り、外国人を対象としたイベントがいいのではないかな

③南部チーム

「なないろミュージアム、7区を巡る、繋がる、近づく」など、既存の発想を打ち破り、世界に発信できるミュージアムになってほしいという、インパクト重視のアイデアが多くみられました。

(発表者コメント)

- ・ 『虹色』なのでバリアフリー。小さい子どもから大人まで楽しめるミュージアムにしたいと思い、みんなでこの名前をつけました

第1回まとめ 「川崎をひとつに！／一体感の協調」

川崎市全体のつなぎ役、まとめ役としてのミュージアム機能が求められています。

第2回・第3回 「新たなミュージアムに期待する声を聞かせて！」

(2023(令和5)年10月21日(土)／28日(土)開催)

STEP1 ディスカッション①

市からの現状説明を受け、興味のある分野ごとに、これまでの市民ミュージアムの課題や、それに対する新たなミュージアムでの解決方法を議論しました。

STEP2 発表①

課題解決に向けた、新たなミュージアムの取組案をご提案いただきました。

(発表者コメント)

- ・ 川崎市だけではなくて、いろんなところの人たちが(新たなミュージアムが)おもしろいと、発信してもらえるような場所
- ・ 地域資源をPRして伝えていくという意味では『道の駅』というのが、ひとつ、印象的なキーワード

STEP3 ディスカッション②

前半の議論内容をふまえ、課題解決にむけて、新たなミュージアムに求められる取組のアイデアを出し合いました。

STEP4 発表②

理想とする「未来のミュージアム像」について様々なアイデアをご提案いただきました。

(発表者コメント)

- ・ 会社で働いている社会人も（新たなミュージアムに）行ったら出勤扱いになる
- ・ 地域に根ざして地域の情報を集約する、地域の人たちのためのミュージアム
ミュージアムを通して、地域が育ち、人が育つような、未来志向的なミュージアム

第2回・第3回まとめ

「市民参加を通じた交流、つながりや連携の創出」、「人材の育成や獲得」へ期待大！

そのほかにも、「見せるだけではない、飽きさせない展示手法の実践」などの展示演出に関する意見も多くみられました。

第4回 「新たなミュージアムのイメージを描いてみよう！」

(2024(令和6)年3月9日(土)開催)

STEP1 川崎市による報告

これまでにいただいたご意見を参考に作成し、公表した、基本計画の中間報告についてご説明させていただきました。

STEP2 専修大学学生による発表

ネットワーク情報学部生が学内で企画立案、実施したワークショップの結果をもとに、新たなミュージアムへのご提案をいただきました。

STEP3 ディスカッション①

市の報告、専修大学学生の発表をふまえて、新たなミュージアムでの具体的な活動イメージについて議論しました。

STEP4 アドバイス

席を移動して、他のグループの検討内容に対してアドバイスをしました。

STEP5 ディスカッション②

元のグループに戻り、もらったアドバイスをもとに、再度新たなミュージアムでの具体的な活動イメージを考えました。

STEP6 発表

新たなミュージアムのイメージとして、「市民参加型」「みんなが集える」「人と人がつながる」などといったキーワードが挙がりました。

第4回まとめ

「誰もがつながり、楽しめるような、開かれたミュージアムができてほしい！」

市民参画やつながり創出を、ミュージアムができるまでの期間も行ってほしいというご意見もいただきました。

ともに創るミュージアムの実現をめざして

製作 川崎市

協力 専修大学

あなたも新たなミュージアムと一緒に考えてみませんか？

いただいたご意見を計画づくりの参考にさせていただいています！

(検索ボックスのイラスト内に「川崎市」「新たなミュージアム」)